

看護記録および診療情報の 取り扱いに関する指針

社団法人 日本看護協会

〈目次〉

0	前文	1	6	看護記録の開示	7
0-1	看護記録と診療情報に関する社会背景	1	6-1	開示の原則	7
0-2	本会の責務と対応	1	6-2	開示の対象	7
1	本指針の基本理念	1	6-3	開示の方法	8
1-1	指針作成の目的	1	6-4	開示を拒み得る場合の判断	8
1-2	基本理念	2	6-5	苦情対応	8
2	本指針で使用する用語の定義	2	7	診療記録開示の目的に合う看護記録のあり方	8
2-1	看護者	2	7-1	看護記録の法的位置づけ	8
2-2	看護記録	2	7-1-1	看護記録に関する法的規定	8
2-3	看護記録の開示	2	7-1-2	看護記録の法的証拠能力	9
2-4	個人情報	2	7-2	看護記録の目的および意義	9
2-5	診療情報	2	7-3	看護記録の整備	9
2-6	診療情報の提供	2	7-3-1	看護記録の構成	9
3	本指針の適用範囲	3	7-3-2	看護記録の記載基準の明文化	10
3-1	対象	3	7-3-3	看護記録の記載範囲	10
3-2	扱う範囲	3	7-3-4	看護記録の訂正	10
3-3	勧告のレベル	3	7-3-5	看護者が行う記録の保存期間	11
4	診療情報の提供に関する看護者の責務	3	8	看護記録および診療情報の取り扱いに関する看護管理者の責務	11
4-1	診療情報の提供に関する医療従事者の責務	3	8-1	看護記録の管理	11
4-2	診療情報の提供に関する看護者の基本的責務	3	8-2	診療情報の管理と環境整備	11
4-3	患者の自己決定の支援	4	8-3	看護記録の開示に関する規定の整備と周知	11
4-3-1	セカンドオピニオン	4	8-4	苦情対応体制の整備	11
4-3-2	医療機関に関する情報提供	4	8-5	看護者への支援	12
4-3-3	患者が「知らないでいる」という選択をした場合の対応	5	8-6	看護研究および実習を受け入れる場合の留意点	12
4-4	看護実践に関する情報提供	5			
4-5	情報提供の方法	5			
5	診療情報の取り扱いに関する看護者の責務	6			
5-1	守秘義務の遵守	6			
5-2	個人情報保護法の遵守	6			
5-2-1	情報収集のあり方	6			
5-2-2	第三者への情報提供	7			
5-2-3	診療情報を看護研究に利用する場合	7			

9	看護記録および診療情報の取り扱いに関する 基礎教育のあり方	12
9-1	看護記録および診療情報の取り扱いに関する 基礎教育の基本	12
9-2	臨地実習前の準備	12
9-2-1	臨地実習前の教育	12
9-2-2	臨地実習に関する インフォームドコンセント	13
9-2-3	看護学生による看護行為の 違法性阻却証明	13
9-3	臨地実習中の学生への指導	14
9-3-1	看護学生の臨地実習における 情報の取り扱い	14
9-3-2	実習記録の取り扱い	14
9-3-3	看護学生による看護記録の記載	14
9-4	実習記録の開示への対応	14
9-5	実習記録の取り扱いに関する規定の整備	14
10	診療記録の IT (Information Technology) 化	15
10-1	情報の共有	15
10-2	迅速な医療提供	15
10-3	診療記録の活用	16
10-4	プライバシー保護とセキュリティ確保	16
11	今後の課題	16

●本指針における用語の定義	17
---------------	----

●参考資料

1	看護者の倫理綱領 (日本看護協会, 2003年)	18
2	看護業務基準 (日本看護協会, 1995年)	22
3	診療情報の提供等に関する指針 (厚生労働省, 2003年)	24
4	守秘義務に関する法律	26
5	医療・介護関係事業者の通常の業務で 想定される利用目的	29
6	看護記録に関する法的規定	30
7	日本看護協会が作成した指針類における 記録の記載基準 (抜粋)	31
8	助産録・看護記録・訪問看護等の 提供に関する諸記録の保存期間	32
9	臨地実習説明書及び臨地実習同意書の例	33

●参考文献	34
-------	----